

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 商業 科目 財務会計Ⅰ

教科： 商業

科目： 財務会計Ⅰ

単位数： 4 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ E 組（選択科目）

教科担当者：

使用教科書：（実教出版 使用教科書：新財務会計Ⅰ（実教出版）、原価計算（実教出版））

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 財務会計Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業を分析する力を養う。	会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 財務会計の概要 【知識及び技能】 会計の成り立ち及びその捉え方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 帳簿記入の手順、財務諸表の仕組みについて、事例を通して考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 経済や会計実務の動向について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	ア 企業会計と財務会計の意義・役割 イ 財務諸表の構成要素 ウ 会計法規と会計基準	【知識及び技能】 現代における財務会計の概要について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 帳簿記入の手順とともに、学習計画が立てられている。 取引事象の関わりについて、具体的な事例と関連付けながら思考できている。 【学びに向かう力、人間性等】 財務諸表について自ら学び、主体的かつ協働的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	24
	単元 会計処理 【知識及び技能】 財務分析について、企業における事例と関連付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 財務分析に基づいて実際の企業の数字を用いて分析しそこから企業の財務に関する課題を発見する。 【学びに向かう力、人間性等】 財務分析につながるアイデアを考える活動に主体的に参加する。 財務分析を基にプレゼンテーションを行い、協働的に評価、改善を行う。	ア 資産と負債 イ 純資産 ウ 収益と費用 エ 税	【知識及び技能】 財務分析の技術が身についている。 【思考力、判断力、表現力等】 財務分析から企業のビジネスに関する課題を発見できている。 プレゼンテーションに必要な技術を用いて、表現活動が行えている。 【学びに向かう力、人間性等】 アイデア創出にあたり、主体的かつ協働的に取り組んでいる。 財務諸表の作成について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえて、企業の会計についての学習を主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	24
	単元 財務諸表の作成 【知識及び技能】 財務諸表の作成に関する知識、技術などを基盤として、企業会計に関する法規と基準を実務に適用し、適正な財務諸表による適切な会計情報の提供について、組織の一員としての役割を果たすことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな分析指標について、企業における事例と関連付けて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 作成した財務諸表を基にプレゼンテーションを行い、主体的かつ協働的に評価、改善を行う。	ア 資産・負債・純資産に関する財務諸表 イ 収益・費用に関する財務諸表	【知識及び技能】 財務分析の目的に合わせて、一連の流れを理解している。 分析の指標についてその意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 企業の事例から、年度ごとに戦略の違いがあることに気づけている。 企業における財務活動の事例から、それぞれの特徴を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 財務分析の各指標について自ら学び、経済や企業の動向などを踏まえ、事業計画書を主体的かつ協働的に作成している。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1

2 学 期	<p>単元 財務会計の基本概念と会計基準</p> <p>【知識及び技能】 会計基準と法律について、事例と関連付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 財務会計の基本概念について、具体的な企業で関連付けて分析する。 会計に関わるきまりについて、具体的な事例と関連付けて分析、考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 海外展開について学び国際的な対応が必要であるということを主体的に学ぶ。</p>	<p>ア 財務諸表の作成と表示の考え イ 資産負債アプローチと収益費用アプローチ ウ 会計基準の国際的統合</p>	<p>【知識及び技能】 財務会計の基本概念と会計基準に関する知識などを基盤として、財務会計と会計基準の意義について自らの考えをもつとともに、適切な会計情報の提供と効果的な活用についての意識と意欲を高める。 【思考力、判断力、表現力等】 企業の事例を取り上げて、商品デザインの技法について分析できている。 パッケージについて考察できている。 知的財産権の侵害について、科学的な根拠に基づいて、具体的な事例について分析、考察ができている。 【学びに向かう力、人間性等】 財務会計の基本概念と会計基準について自ら学ぶ。</p>	○	○	○	24
	<p>単元 会計処理</p> <p>【知識及び技能】 会計処理について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 会計処理に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応する 【学びに向かう力、人間性等】 会計処理について自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用を主体的かつ協働的に取り組む</p>	<p>ア 金融商品 イ 収益と費用 ウ 有形固定資産と無形固定資産 エ 固定負債 オ 純資産 カ 税効果会計</p>	<p>【知識及び技能】 金融商品、収益、費用などの会計処理に関する知識、技術などを基盤として、企業会計に関する法規と基準を実務に適用し、適切な会計情報の提供と効果的な活用について、組織の一員としての役割を果たすことができるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 キャッシュ・フローに関する財務諸表に関する知識、技術などを基盤として、企業会計に関する法規と基準を実務に適用し、適正なキャッシュ・フローに関する財務諸表による適切な会計情報の提供について、組織の一員としての役割を果たすことができるようにする 【学びに向かう力、人間性等】 キャッシュ・フローに関する財務諸表について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付ける</p>	○	○	○	6
	定期考査						1
3 学 期	<p>単元 企業集団の会計</p> <p>【知識及び技能】 企業結合の形態、合併後の財務諸表の作成など企業 集団の会計に関する知識、技術などを基盤として、企業会計に関する法規と基準を実務に適用し、適切な会計情報の提供と効果的な活用について、組織の一員としての役割を果たすことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 企業集団の会計について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</p>	<p>ア 企業結合の形態 イ 合併後の財務諸表の作成 ウ 連結財務諸表の作成 エ 連結税効果会計</p>	<p>【知識及び技能】 企業集団の会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応する。 【思考力、判断力、表現力等】 企業集団の会計について自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用を主体的かつ協働的に取り組む。</p>	○	○		24
	簿記検定試験対策授業	・ 横定模擬問題集	<p>【知識及び技能】 既習内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 既習内容を基に正しい答えが導き出せる。</p>	○	○		16

